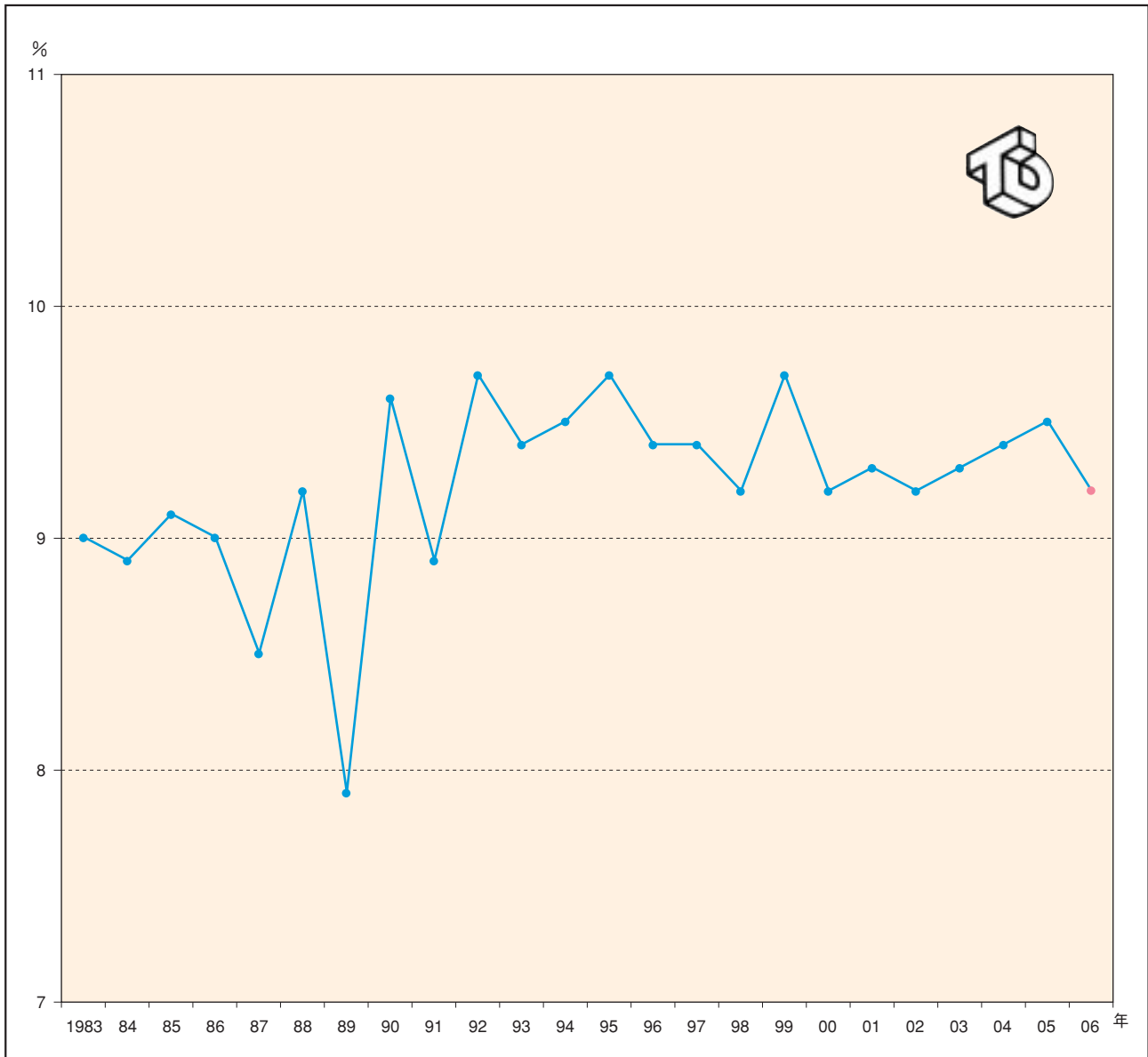


6) 年間粗死亡率と生存率

(1) 年別粗死亡率の推移 (図表20)



年	1983	1984	1985	1986	1987	1988	1989	1990	1991	1992	1993	1994
粗死亡率	9.0	8.9	9.1	9.0	8.5	9.2	7.9	9.6	8.9	9.7	9.4	9.5

年	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001	2002	2003	2004	2005	2006
粗死亡率	9.7	9.4	9.4	9.2	9.7	9.2	9.3	9.2	9.3	9.4	9.5	9.2

解説

1983年以降の粗死亡率

高齢化、糖尿病性腎症、腎硬化症の増加など予後不良な患者の導入が多くなっていることから粗死亡率の悪化が懸念されるが、1992年以降は9.2～9.7%の範囲で維持されていて、全体的にみて十分な透析管理が行われていると判断される。2006年の結果は9.2%で、この3年間近く続いた増加傾向を抑止できた。